

福祉サービス第三者評価結果

事業所

みんなの森こども園

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和7年12月2日

③事業者情報

名称:	学校法人 立山学園 みんなの森こども園	種別:	幼保連携型認定こども園
代表者氏名:	理事長 立山 貴史	定員(利用人数):	215 名 (203)名
所在地: 大分県大分市大字丹川字長福寺415番地			
電話番号: 097-574-6200			

④総評

◇評価の高い点

【中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。】

- ・理事長が2020年から2030年までの経営ビジョン10年計画を策定している。
- ・過去10年間(2010年から2020年)を振り返り、社会情勢の分析等踏まえ、中・長期的な視野で、「永続的に社会に必要とされる法人になるための基礎を培う10年とする。」目標を掲げて、保育の質の向上、地域貢献事業等の課題を把握し、保育の更なる充実と新たな福祉サービスの質の向上を目指した計画であり、職員間にも周知徹底されている。

【地域との関係が適切に確保されている。】

- ・毎年度、教育及び保育の内容に関する全体的な計画の中で、地域への支援を明文化しており、近隣中学校の生徒の職場体験や、近隣小学校の児童と園庭での森でドングリ拾い交流等が行われている。

【安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。】

- ・安全委員会を設置しており、施設内外の安全対策に関することの検討・実施する取り組みが行われている。
- ・系列園約40園のヒヤリハット事例を収集し、子どもの安全確保・事故防止を促す効果を図るために職員に周知している。なお、ヒヤリハットの事例で当園でも起こりえる重大事故の事例については、職員会議で、要因分析や改善策・再発防止策を協議しており、「危険への気づき」を促す意識喚起が行われている。更に、職員には救急救命講習を義務付けている。

【子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。】

- ・子どもたちが自由に遊びを選べる環境を整え、自主性を大切にしたり関わりを行っている。
- ・広い園庭とドングリ拾いや虫取り、自然観察ができる森を園内に整備し自然探索活動などに供している。
- ・ゲームや製作を通じて友達と共同して活動する環境を整えている。
- ・友達同士のやりとりやいざこざがあったときに保育者は、子ども同士の関係性を重要視した保育を行っている。
- ・制作のための材料や積み木などにより創造的な活動ができるよう環境整備している。
- ・地域の清掃センターや美容室など、子どもが関心を持った地域の方と接する機会がある。

【保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。】

- ・毎日の送迎時に保護者から家庭での様子を聞いたり、保育者が園の様子を伝えたりしている。
- ・保護者の都合を優先して、面談をする日を設けており、日々の子どもの成長や様子を伝え、情報を共有している。
- ・面談の内容は職員間で共有し、特に課題がある場合は、主任、園長・副園長を交えて対処方法を検討している。

【保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。】

- ・保育の質向上委員会が主導のもと、園内・外研修、互見研修、実践研修及び巡回等を実施し、その都度振り返りを行い、保育の質の向上に努めている。また、職員向け虐待関連のアンケートを実施し、この中で保育実践の振り返りを毎月行い、共通認識をする場を設けるなどして、保育の改善や専門性の向上に組織で取り組んでいる。

◇改善を求められる点

【アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。】

- ・食物アレルギー以外のアレルギー疾患についてのマニュアルを整備し、全職員が共通理解をもち、子どもの状況に応じた保育がより充実できるよう、組織的に対応する体制づくりを期待する。

⑤ 第三者評価に対する事業者のコメント

つぶさに目を通していただき、ご指導ご指摘をいただき感謝いたします。
この受審を機会にしっかりと振り返りができましたし、これからの改善の道筋も見えてまいりました。
今後一層職員一丸となって利用者本位の福祉サービスの向上に努めてまいります。

⑥ 各評価項目にかかる評価結果(別紙)